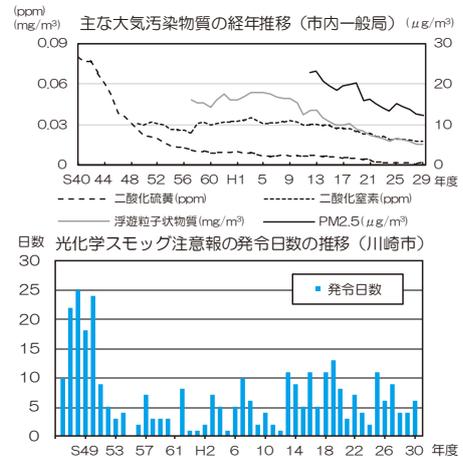


未来につなげよう ～川崎の大気環境～

大気環境の状況について

平成29年度の大気常時監視測定結果では、測定しているほとんどの物質で環境基準を達成しています。平成28年度に初めて市内全測定地点で環境基準を達成したPM2.5（微小粒子状物質）についても、引き続き環境基準を達成し、川崎市の大気環境は大幅に改善しています。

平成29年度の
大気環境はこちら



一方で、全国的に環境基準非達成の状況が続いている光化学オキシダント（光化学スモッグの原因物質）への対策については、事業場等に光化学オキシダントの原因物質の自主的排出削減の呼びかけなどを行っています。引き続き、大気環境のさらなる改善に向けて、光化学オキシダント対策の推進に取り組んでまいります。

問い合わせ：環境局大気環境課
TEL：200-2516 FAX：200-3922

VOCの削減にご協力ください ～光化学オキシダントを減らすために～

光化学オキシダントの原因物質の1つに揮発性有機化合物（VOC）という物質があります。これは油性塗料、インクなどツンとくるにおいの原因でもあります。塗料や接着剤などを使用する際にVOCが少ない水性製品を選ぶ、容器の蓋を開けたままにしないなど、ちょっとした心がけがVOC排出抑制に繋がります！

この他、市では、よりよい大気環境を目指して、これまでの取り組みに加えて、環境汚染の未然防止に向けた化学物質による影響の評価や、海外の大気環境改善に向けた取り組みなどを行っています。

化学物質の環境リスク評価の取り組み

市では、市内の事業所から大気への排出があり、有害性に関する情報がある化学物質について、大気環境実態調査を実施し、その結果をもとに環境リスク評価を行っています。「環境リスク評価」とは大気に排出された化学物質が人の健康に悪影響を及ぼす可能性について評価することです。

平成29年度は次の6物質について評価を行ったところ、全ての物質について「現時点では対策の必要はないと考えられる」という結果となりました。今後も引き続き、環境リスク評価について取り組んでまいります。

平成29年度環境リスク
評価を行った物質

コバルト及びその化合物、モリブデン及びその化合物、ジシクロペンタジエン、アセトニトリル、α-メチルチレン、1,2-エポキシブタン

問い合わせ：環境局環境管理課
TEL：200-2532 FAX：200-3922

環境リスク評価の
方法等詳細はこちら



川崎発の海外に向けた大気改善の取り組み

川崎市と瀋陽市（中国）のPM2.5共同研究成果報告会を開催します！

市では、環境省の「日中都市間連携協力事業」を活用し、友好都市である瀋陽市とともに大気環境の改善に向けてPM2.5（微小粒子状物質）に係る共同研究を平成28年度から実施しています。

このたび、瀋陽市環境保護局局長などが来日し、共同研究の成果報告会を開催します。ぜひ会場へお越しください。（参加無料）

- 日時：平成31年1月17日（木）13時30分～16時30分
- 会場：カルツかわさき 大会議室1・2（川崎区富士見1-1-4）
- 内容：日中都市間連携協力事業の概要及び川崎市の研究成果報告
瀋陽市環境保護局による瀋陽市の研究成果報告 他
- 定員：50名（定員に達しない場合は、当日参加もできます）

問い合わせ：環境局環境総合研究所事業推進課
TEL：276-9118 FAX：288-3156

イベントの詳細や
申込方法はこちら

